

下松市学校施設耐震化の進捗状況について

令和3年12月1日現在

学校	種別	棟番	階数	面積	建築年	1次診断 IS値	2次診断結果Is値・q値 (木造の場合は耐震診断Iw値) ※鉄筋コンクリート造のq値は、CtuSd値÷ 0.24で換算しています。	耐力度 調査	耐震化 の状況
下松中学校	屋内運動場	S12	1	900	S35	-	-	済	解体済
下松小学校	屋内運動場	S15	1	1,148	S44	0.20	Is=0.26 q=0.87	-	解体済
久保小学校	校舎	S20	4	3,812	S56	0.21	Is=0.32 q=1.66	-	補強済 (計画Is=0.73)
公集小学校	本館	S20	4	1,700	S54	0.29	Is=0.57 q=1.95	-	補強済 (計画Is=0.85)
公集小学校	第1校舎	S19	3	1,433	S49	0.35	Is=0.25 q=1.54	-	補強済 (計画Is=0.73)
下松小学校	第1校舎	R22	3	3,152	S49	0.16	-	済	解体済
下松小学校	第3校舎	R1	2	1,193	S30	0.20	-	済	解体済
下松小学校	第2校舎	R29	4	2,926	S53	0.33	-	済	解体済
下松小学校	校舎	W9	2	580	S27		-	済	解体済
末武中学校	普通教室棟	R2	2	1,499	S30	0.35	-	済	解体済
末武中学校	特別教室棟	R8	2	602	S41	0.21	-	済	解体済
末武中学校	校舎	W5	2	1,431	S30		-	済	解体済
花岡小学校	第1校舎	R31	3	2,248	S54	0.34	Is=0.46 q=2.45	-	補強済 (計画Is=0.83)
花岡小学校	第2校舎	R24	3	1,151	S51	0.35	Is=0.45 q=1.91	-	補強済 (計画Is=0.74)
中村小学校	校舎	R1	3	2,544	S54	0.45	Is=0.42 q=2.29	-	補強済 (計画Is=0.78)
米川小学校	校舎	R1	2	1,099	S45	0.49	Is=0.77 q=3.04	-	不要
豊井小学校	第1校舎	R9	2	962	S41	0.48	Is=0.75 q=2.12	-	不要
中村小学校	屋内運動場	R5	1	628	S46	0.23	Is=0.47 q=0.86	済	解体済
笠戸小学校	校舎	W1	2	729	S27		Iw=0.33	-	廃校
江の浦小学校	校舎	W5	2	602	S28		Iw=0.4	-	廃校

※この表は、「地震防災特別措置法」(平成20年6月18日施行)により、耐震診断の実施及びその結果の公表が義務付けられている学校施設についての耐震化事業の進捗状況を示したもので、具体的な対象は、木造の場合、3階以上又は500㎡を超えるもの、木造以外の場合、2階以上又は200㎡を超えるものとなります。

ただし、昭和57年以降の地震に対する安全性に係る建築基準法又はこれに基づく命令若しくは条例の規定の改正により、これらに適合しなくなった建物で同法第3条第2項の適用を受けているものは対象から除かれます。

(凡例)

-
 = 木造施設
- = 実施する予定のないもの
- 未 = 実施する予定はあるが、未実施のもの

(語句説明)

1次診断	耐震性の低い建物を抽出するため、建物の耐震性能を簡略的に評価する診断。
2次診断	耐震補強内容の検討を行うため、建物の耐震性能を詳細に評価する診断。
Is値 (木造はIw 値)	建物が地震にどのくらい耐えられるかを表す指標。 建物の構造部材の強度と粘りをもとに、形状や経年劣化を考慮して階別、方向別に算出し、その最小値を用いる。 「建築物の耐震改修の促進に関する法律」では、Is値0.6以上、Iw値1.0以上で地震に対して安全な構造であるとされているが、学校施設については、児童生徒の安全性及び避難所としての使用を考慮し、木造以外については、Is値0.7以上(かつq値1.0以上)。木造については、Iw値が概ね1.1以上又は補強によりこれと同程度の耐震性能を確保する必要がある。
q値	保有水平耐力に係る指標で、1.0以上あれば地震に対して安全な構造であるとされている。 保有水平耐力とは、建物が地震による水平方向の力に対して対応する強さを言い、各階の柱、耐力壁及び筋交いが負担する水平せん断力の和として求められる値である。
耐震診断 と 耐力度調査 について	耐震診断が、建物が地震に対してどの程度耐え得る力を有しているかについて、構造学上から診断するものであるのに対し、耐力度調査は、公立学校施設において、建物の構造耐力、経年による耐力低下、立地条件による影響の3項目を総合的に調査し、建物の老朽状況を評価するものである。

Is値・q値・Iw値の目安(想定している地震の規模は、震度6～7程度)

Is値0.3未満 又は q値0.5未満 Iw値0.7未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
Is値0.3以上0.6未満 又は q値0.5以上1.0未満 Iw値0.7以上1.0未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
Is値0.6以上 かつ q値1.0以上 Iw値1.0以上	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。 ※学校施設においては、木造以外の場合、Is値0.7以上かつq値1.0以上。木造の場合は、Iw値1.1以上又は補強によりこれと同程度の耐震性能を確保する必要がある。